

キャラクター名
滅七 和音 (げんな かずね)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー エグザイル	ワークス	不良高校生	カヴァー	猫耳ヘッドフォンの人
オプション		年齢	16	性別	女
覚醒	探求	衝動	飢餓	初期侵食率	28 %
出自	有名人	経験	永劫の別れ	邂逅	借り

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	35
肉体	3	1	3			7	行動値	7
感覚	3	0	0			3	(非装備時)	7
精神	1	0	0			1	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転 :バイク	2		芸術 :			知識 :			情報 :裏社会	1	
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		
運転 :			芸術 :			知識 :			情報 :		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
○対抗種		0				レネゲイドへの攻撃に2d 10追加ダメージ
○プレイヤー/ヘッドフォン	白兵	7r	6	6		「骨の剣」基礎データ ◎3
●侵蝕80以下		0				渴き-対抗種 【12-3=9】
A : 薔薇薔	白兵	7r	6	6		「骨の剣」「渴きの主」「コンセ」 6

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1			

所持品	
携帯電話	
音楽プレイヤーとヘッドフォン	

合計装甲 : 1 合計回避 : 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
対抗種	P	N		
ヨハン・C・コードウエル	P 憧憬	N 劣等感		
両親	P 執着	N 嫌悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P: 3

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果 :	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果 :	コスト分のHPで復活							
C : ブラムストーカー	2	2	Major	-	-	-	-	
効果 :	Crit [Lv]							
伸縮腕	1	2	Major	視界	-	白兵	-	
効果 :	判定D数 [3-Lv] 白兵射程 : 視界							
骨の剣	1	3	Minor	至近	自身	自動	-	
効果 :	[Lv+5] の白兵素手武器作成							
渴きの主	3	4	Major	至近	単体	白兵	-	
効果 :	装甲値無視 当たると [Lv*4] 回復							
ブラッドバーン	3	4	Major	-	-	Synd	80↑	
効果 :	Atk [Lv*4] HP-5							
物質変化	★	-	Major	至近	自身	自動	-	
効果 :								
血の彫像	★	-	Major	至近	自身	自動	-	
効果 :								
効果 :								
効果 :								
効果 :								
効果 :								
効果 :								
効果 :								
効果 :								
効果 :								
効果 :								
効果 :								

親がそれなりに有名なミュージシャン。
色んな音楽を知っていて、再生している音楽に応じて傷口から色んな物が出てくる。
いつも着けている真っ赤な猫耳ヘッドフォンと音楽プレイヤーは自分の血が凝固してその形になったがよくわかっていない。
(システム的には大体物質変化と血の彫像)
容量はいくらでも入るし音質もいいのでとりあえず使っている。
若干ぶつきらぼうなのでもとすれば男と間違われることもある。

幼い頃は若干虐待を受けていた。身体のあちこちに軽い傷跡があるのはその時の名残。
5歳の頃に両親が事故死して路頭に迷う。
突然何もすることがわからないまま放り出され、冬の寒さで凍え死ぬだけかと思った時にオーヴァードに覚醒し生存。
それから後は親の貯金や印税で暮らしながらそのまま大きくなった。
しかし「何もすることがわからない」という根本的なところは10年経って高校生になっても解決されていないし、不良の真似事の様な事をしてみたりもするが締まらない、といった生活を現状は続けている。

ヨハン・C・コードウエルには不良に絡まれた時にオーヴァードだという理由で助けられた。
似たような力を持っている彼ははっきりと「やるべき事」がわかっているようで、これから人殺しをするだの物騒な話を和音に聞かせたが、「明確な目的が決まっている」という事に例え人殺しであろうと憧れた。
もう一度彼に会えば何かを見つけられるかもしれない、とひっそり思っている。

欲しい物が「目的」と漠然としすぎるあまり沢山の事に手を出している。見た目によらず本を読んだりもする。
カウンターレネゲイドについては気付いていない。